

eitoeiko

『ノー・モア・オルタナティブ』

白須純、いらはらみつみ、ボブ・シェイプ、アレックス・ボール他

2009年12月23日-2010年1月30日

eitoeiko ではグループ展『ノー・モア・オルタナティブ』を開催いたします。オルタナティブ Alternative とは、「代わりとなる」「新しい」という意味で使用され、実験精神に富んだものを指して呼称いたしますが、新しいものというのは、そもそもどこから生まれるのでしょうか。eitoeiko は現代美術を視野に入れたギャラリーとして、古典芸術に対する考察を常に忘れません。時代を経て変遷する人類の美術の足跡は、常に過去の創造の肯定と否定を繰り返し、変化していったものと思います。美は進化することではなく、究極の価値観を持って存在し、その表象が時間という流れの中で変化し続けているのではないのでしょうか。真に新しいものは、常に古いものから生まれてくるのです。

軽薄な流行にオルタナティブという言葉を使うならば、そんな言葉は必要ありません。本当のオルタナティブを探して、eitoeiko は芸術の旅を続けていきます。



白須純「魚と葉」13.5x8.2x1.3cm(左)「古代象 II」13x13x1cm(右) ストーンエッチング 2009年



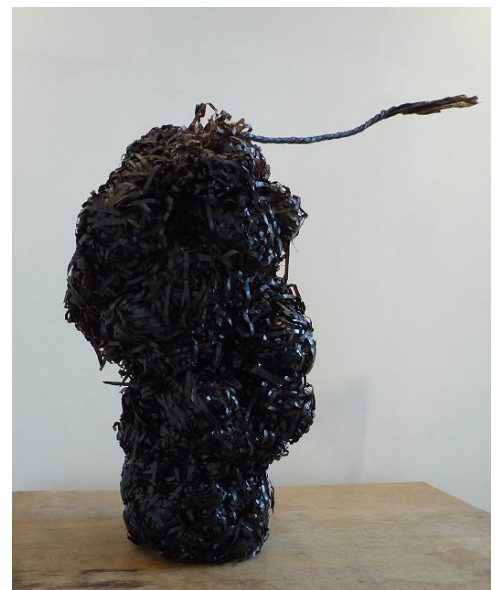
白須純 タイル作品 eitoeiko 2009年

1965年東京生まれの白須純は、武蔵野美術大学を卒業後、ロンドンのスレード美術学校に学びます。版画を研究した白須はまた同じ技法を発展させたストーン・エッチングに出会い、東京メトロ日本橋駅には彼が制作に加わった壁画が展示されています。その共同作業の中で出会ったポルトガルの作家たちから、作家はまたポルトガルのタイル画に出会い、制作の幅を広げていきます。かの国の鉄道駅のひとつには、白須氏が全面を制作した巨大なタイル壁画があります。

ストーン・エッチングは白須純がかつて慣れ親しんだ表現として記憶に埋もれていきましたが、2009年、化石の混じった大理石に天啓を受け、制作を再開します。作家の刻む描線はあるときは古代ペルシアの文様をモチーフに、あるときは絶滅してしまったいにしえの動物を描きます。そこには古代を刻むという行為から新しいものが生まれるというパラドックスがあります。

いらはらみつみ(伊原良満美。1972年東京生まれ)の漆に対する考察もまた、興味深いものがあります。立体作品「話題の種」は、新聞紙のテレビ欄という、ありふれた、しかしマスメディアが最も集約され、かつ瞬く間に消費されていく物質を、漆の力によって永遠に封じ込めるという魔法を施します。アジア圏で広く伝統的に使用される漆は、その扱いにおいて日本が特に優れています。物質に固着し強度を高め、保存していくという漆本来の能力に注目した作家は、時間を静止する、あるいは記録する媒体としての漆を効果的に用いています。これは古くも新しい、一種のメディア・アートではないのでしょうか。また作家は情報消費社会に警鐘を鳴らすことなく、コミュニケーションの道具としてのマスメディアから「芽」が出ることを好意的に表わしています。東京藝術大学大学院美術研究科漆芸専攻を修了し、在学中には安宅賞、サロン・ド・プランタン賞を受賞、2005年には国際漆展銀賞を受賞しています。

ストーン・エッチングは白須純がかつて慣れ親しんだ表現として記憶に埋もれていきましたが、2009年、化石の混じった大理石に天啓を受け、制作を再開します。作家の刻む描線はあるときは古代ペルシアの文様をモチーフに、あるときは絶滅してしまったいにしえの動物を描きます。そこには古代を刻むという行為から新しいものが生まれるというパラドックスがあります。



いらはらみつみ「話題の種」新聞紙、漆 高さ38cm 2006年



アレックス・ボール「Arrangement II」

パネルに油彩 12.5x14.5cm 2009年

好評を博した『明月記』展におけるアレックス・ボール(1985年英国生まれ)の作品も、年内の期間ではありますが、ふたたび展示いたします。浮世絵に影響を受けた精密な描写表現とともに、美術書のサイズに厳格に準じたユニークなスタイルにも注目ください。名画の掲載された美術書は当然のことながら縮小された図版ですが、作家はその大きさを実寸ととらえ、自身の作品を生み出しています。名画というのは書物の中に収められてもなお輝きを放ちますが、アレックスの作品は実寸でありながら縮小されたかのような、不思議なリアリティを醸し出すのです。セントラル・セントマーティン美術大学を卒業後、2008年にカトラン・アートプライズを受賞しています。

ボブ・シェイブ(1985年米国生まれ)の作品は、異文化との摩擦により生まれる創造、というものが人類の歴史であることを証明しているでしょう。eitoeikoが贈る、野心あふれる若き先鋭的な作家のひとりです。 Temple University Tyler School of Art を卒業し、フィラデルフィアを拠点に制作、活動しています。

あわただしい時期ではありますが、美しく興味深い作品を愛で、越し方行く末に思いをはせるのは、いかがでしょうか。eitoeiko ゆかりの作家たちによる魅惑の作品にも、ギャラリーで出会えるかもしれません。

白須純

1965年東京生まれ。東京在住

1987年武蔵野美術大学卒業

1993年ロンドン大学スレード美術学校 HDFA 修了

2006-08年武蔵野美術大学版画専攻非常勤講師

いらはらみつみ

1972年東京生まれ。埼玉県在住

1999年東京藝術大学大学院美術研究科漆芸専攻修了

1998年安宅賞

1999年サロン・ド・プランタン賞

2000年東京藝術大学漆芸科非常勤講師

2005年国際漆展銀賞

アレックス・ボール

1985年英国生まれ。ロンドン在住

2007年セントラル・セントマーティン美術大学卒業

2008年カトラン・アートプライズ受賞

ボブ・シェイブ

1985年米国生まれ。フィラデルフィア在住

2009年 Temple University Tyler School of Art を卒業



アレックス・ボール「Coral Figure」リネンに油彩 12.5x14cm 2009年



ボブ・シェイブ「エクスカリバー」ミックスメディア 16x11.5cm 2009

ノー・モア・オルタナティブ

2009年12月23日(水・祝)~2010年1月30日(土)

開廊:12時から19時 月曜日・火曜日休廊 冬期休廊 12月28日~1月8日

ヴェルニサージュ:12月23日(水・祝) 15時から17時 新年会:1月9日(土)15時から17時

eitoeiko

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 32-2

03-6479-6923 <http://eitoeiko.com> ei@eitoeiko.com